

事業番号	10 05 01	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	野生鳥獣保護管理事業		部局	林務部	課・室	鳥獣対策室
			実施期間	S33 ～	E-mail	choju @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

- ・野生鳥獣による農林業被害は、10年間で約4割減となるなど減少傾向にあるが、近年は減少幅が小さくなっている。
- ・農林業被害防止のためには、緩衝帯整備や誘引物の除去を行う「生息環境対策」、侵入防止柵設置等の「防除対策」、加害個体等を対象とした「捕獲対策」を組み合わせた総合的な対策が必要となる。

2 事業目的

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律及び鳥獣保護管理事業計画に基づき、関係者が連携をしながら役割を果たすことにより、人と鳥獣との適切な関係を構築し、生物多様性の確保及び生活環境の保全、農林業被害の軽減を目指す。

3 事業目的を達成するための取組

① 地域が連携して取り組む総合的野生鳥獣被害対策

- ・市町村等が取り組む捕獲活動の支援
- ・【新】二ホンジカを効率的かつ持続的に捕獲できる技術の実証

② 特定鳥獣保護管理の推進

- ・特定鳥獣保護管理検討委員会及び専門部会において検討を行い、第二種特定鳥獣管理計画を策定
- ・次期計画策定の基礎資料とするための二ホンジカ管理計画策定調査及びカモシカ個体群動向調査を実施

4 成果指標

(推移の凡例 ↑:改善 ↓:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
①	農林業被害額	千円	731,552	736,664 (速報値)	↓	735,642	↑	734,619		今後5年間で、直近で一番少ない被害額となった令和3年度の被害額と同程度まで減らすため目標値を設定している。	
②	管理計画の計画数	件	5	5	→	5	→	5		生息数等が増加している5つの野生鳥獣に関して生息状況調査や特定委員会による検討を実施するため目標値を設定している。	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (★印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標		
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値	
1-1②	人と自然が共生する社会の実現											

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	予算案	2月上旬公表予定		0			
	要求		415,278		415,278	100,977	
R5年度	0	458,051	0	458,051	87,656		7.0
R4年度	0	394,605	△ 40,473	354,132	75,293	308,907	7.0

事業名	野生鳥獣保護管理事業	部局	林務部	課・室	鳥獣対策室
-----	-------------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
1	狩猟対策事業	18,467 千円	28,415 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 50,265 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	免許事務費	直接	狩猟の適正化を図るため、狩猟免許試験及び狩猟者登録を実施 狩猟免許試験 10地域で実施予定	
2	県営射撃場運営事業	直接	射撃場の改修工事を実施し、老朽化している県営施設を整備 整備箇所 1か所（県営総合射撃場）	
3	安全狩猟実技訓練講習	委託	狩猟時の安全確保を図るため、第一種銃猟免許保持者及びびわな猟免許新規取得者に講習を実施 講習会 10回実施予定	

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
2	鳥獣保護管理事業	35,664 千円	38,525 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 55,334 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	鳥獣保護管理員の任用等	直接	鳥獣保護管理員を配置し、鳥獣保護管理業務を適正に推進するために必要な情報収集等の活動を実施 鳥獣保護管理員 126人	
2	特定鳥獣保護管理事業	直接	専門的見地から適切な特定鳥獣保護管理計画を策定するため、特定鳥獣保護管理検討委員会を開催 特定鳥獣保護管理検討委員会11人、会議は3回開催	
3	特定鳥獣保護管理事業	委託	・野生鳥獣の科学的、計画的な保護管理を図るため、第二種特定鳥獣管理計画策定獣種（R6は二ホンジカ）の生息状況等調査を行い、生息状況、被害発生状況の把握と共に被害対策の実施状況等の解析を実施 ・R5年度に実施した調査結果をもとに第二種特定鳥獣管理計画（カモシカ）を策定 第二種特定鳥獣管理計画（第6期カモシカ管理）策定	

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
3	野生鳥獣総合管理対策事業	322,074 千円	379,711 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 307,566 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	野生鳥獣総合管理対策事業	補助金	<ul style="list-style-type: none"> 野生鳥獣被害対策を効果的に進めるため、個体数調整報奨金によりニホンジカやイノシシ等の農林業に被害を及ぼす有害鳥獣の捕獲に対する支援を実施 市町村等が行う野生鳥獣被害対策に対する経費的な支援を実施 【新】ニホンジカ等の食害から再造林後の苗木を守るためのわなの見回り、機器の保守作業等の活動経費を支援 支援対象 84団体	
2	野生鳥獣捕獲・管理事業	直接 委託	【新】ニホンジカによる農林業被害軽減のため、警戒心が高まり従来の方法では捕獲が困難となったシカを、効果的かつ持続的に捕獲するため、優れた捕獲技術を有する捕獲者による捕獲実証を実施 センサーカメラ等を活用した効率的な手法による捕獲目標数 50頭	
3	持続型捕獲モデル実証事業	委託 補助金	再造林の支障となるニホンジカの捕獲を促進するため、効率的な捕獲手法を実証し、持続可能な捕獲モデルの確立と捕獲個体のジビエ利用に向けた取組に対する支援を実施 実施箇所 3箇所	

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
4	豚熱対策事業	18,400 千円	11,400 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 2,113 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	総合的な害獣対策事業	直接	野生イノシシの個体数低減と豚熱感染抑制を図るため、野生イノシシのジビエ利用再開に向けた防疫・検査体制の整備 国手引きに基づき野生イノシシのジビエ利用に取り組む施設数 1施設	